

2023年度学校評価（自己評価）報告

学校法人ダニエル・ノーマン記念学園 軽井沢幼稚園

【方法】

「あなたがたは神に愛されている子どもです」（エフェソの信徒への手紙5章1節）という園の基本精神に基づき教育方針、園の基本理念、教育方針、特色、目標と願いがある。それらと共に保護者アンケート、教師アンケートから今年度重点的に取り組む目標を設定した。年度末に達成度について自己評価を行った。学校関係者評価を経て情報の公開、設置者への報告を行う。

【評価基準】

A:十分に達成されている

B:達成されている

C:取り組まれているが結果が十分ではない

D:取り組みが不十分である

教育課程・指導				
	目標	具体的方法	達成度 A～D	達成状況・改善策
1	キリスト教保育をいかし、生活を大切にしたい保育を行う	日常で起きた子どもの発見や思いから、活動や行事に繋げる。行事を中心とするのではなく、行事も日常の連続性から計画していく。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・行事のための練習としてではなく日々の遊びや活動から行事につながるよう努力した。今後も継続して考えていきたい ・教師間で子どもの様子（興味関心）を日々話し合い、その変化やあそびの発展について共有することで、さらに遊びを子どもにとって満足ゆくものとした園生活になっている ・キリスト教の考えをもとにした保育を大切にしたい行事や日々の保育だった ・園長先生にお話ししていただく日をぜひもっと作りたい ・毎日の礼拝をもっと大切に行えると良いと思う
2	教師の声がけで動くのではなく、子どもが自主的に行動できるようにする	教師の声をできるだけ減らして、子どもの行動を信じて待てるようにする。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自主性が大切に守られていた ・教師により声かけは差があるが、それはそれでよい ・子どもたちが見通しをもって動けるよう、予め伝えておくなどの配慮はあってよいと思う

3	サポートが必要な子どもに対して1対1の個別対応ができるようにする	保育の振り返りでサポートが必要な子どもに素早く気がつけるようにし、チーム保育でフォローができるようにする。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・声を掛け合い、教師たちで協力してサポートができた ・気持ちや体調、家庭環境を共有しながら保育にあたっていた ・個別の対応ができたことも多いと感じたし、外部からもそのことについて評価していただいた
4	2歳児、3歳児がゆとりある活動ができるようにする	チーム保育でフォローができるようにする。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に保育する保育者とコミュニケーション、アイコンタクトを取り丁寧な保育を心掛けた ・以上児と別カリキュラムで活動できた ・低年齢児は落ち着ける場所も必要なので少し環境に配慮が必要だと思う
5	子どもひとりひとりの育ちを大切に、職員間で話し合い、連携を取り合いながら、個々の育ちの目標を達成していく	コドモンでの保育記録の確認と教師会での情報共有の2つの機会を使って効率的に子どもの状況や目標を把握できるようにする。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモンをより活用していきたいが、必ず読むなど習慣づけが必要かも ・職員会議で子どもについてじっくり話し合い、意見を出し合い共に考え、その子どもの成長、発達を促していけるようにしたい ・子どもの状況や目標は把握できたが、来年度はもっと効率的に出来る方法を探っていきたい
6	子どもたちが神様に愛されていることを実感できるようにする	月に数回神様のお話をする、日常から子どもの自己肯定感を高められるような接し方を心がける。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園長先生からのお話の機会がもう少しあっても良いのかなと思う ・子どもにもわかりやすく、よく聞いているので継続していただきたい ・園長先生のお話、絵本を通して子どもたちが神様に愛されている事を実感できる機会をふやしたい
7	コドモンを活用して振り返りを効率よく行い、翌日の保育へと繋げていく	目標5と同じ。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育後、午後2時からの振り返りができるようになったので継続したい ・写真に残すことで場面を共有して再確認することができた ・教師全員が十分にコドモンを活用できるようになるとよい
8	保育をする教師が主体的に判断、行動できるように当日の保育の流れを共有する	目標5と同じ。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子に合わせて、流れや設定を変えることができていた ・当日の保育の共有の仕方は今後工夫が必要 ・今年度二人の教師が週ごとの主・補助を交代にしてもよいかも

9	保育環境の整備ができるようにする	保育を担当する先生が早めに環境整備、翌日の保育準備に入れるよう仕事を分担する。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・保育準備が間に合わず当日バタバタしてしまった時があった ・帰るときの点検ができたならよいかも ・気が付いた先生がサポートして下さり助かった
組織運営				
10	行事の目標、必要なものなどを早い段階で共有し、協力しながら計画的に進められるようにする	行事の目標や計画を教師間で共有する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・週5出勤ではないため、行事の流れ、準備が直前のなりあわてることもあった ・例年通りではなく、その都度行事の意味、目標、内容を確認し、よく話し合っていくことが大切だと思う
11	ノーコンタクトタイムを継続する	ノーコンタクトタイムを取りやすい方法で取れるように設定する。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・午後2時までにノーコンタクトタイムを取ることは難しい。それ以降で取れるように工夫したい
12	残業時間を減らす	仕事の振り分けを積極的に行う。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・業務上一部の先生に負担が多くいつてしまっている現状なので少しずつ分けてとりくみたい ・常勤の先生の残業が多かった ・行事毎に担当を決めてもいいのではないか
保護者・地域との連携				
13	保護者によりそった対応ができるようにする	保護者の話を受け止める聞き方を心がける。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞く力」を育みたい ・登降園時になるべく細かく話を聞くように心がけたが玄関で時間が重なることもあった ・コミュニケーションが足りないこともあったがその後のフォローや対応はできたと思う
14	保護者同士が相互理解できるような機会を作る	ピーチク（保護者会）の参加を促したり、年に数回でも手しごと会を行って保護者同士が気楽に話しをすることができる場を作る。ラーニングストーリーに他の子との関わりを入れることを継続する	B	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者とは小さいグループでお話できてよかった ・どうしても用事や仕事でピーチク（保護者会）に出られない方もいらっしゃるなので個別に伝えるようにしていた ・ラーニングストーリーの頻度や内容がよかった

15	地域との信頼関係を深める		B	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム、商店街、神社、教会の方など沢山の方にお世話になった ・バザーなどで久しぶりに地域の方々に来ていただいた ・グループホームで地域の人が集まって茶話会をする計画があると聞き参加させてもらいたいと思う
安全管理				
16	危機管理マニュアルの改定を行う	情報収集を行い、現在の状況に照らし合わせて最新版のマニュアルを整える。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・最新版を整えることを次年度の目標としたい ・地震が多く、備えと危機管理意識は持っておきたい ・一時預かりも避難訓練の情報を共有、確認することができた
その他				
17	新園舎に向けて、荷物の整理を行う	長期休みなどを活用して、不要品を廃棄する。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを立てていただきそれに向けて整理を進めていきたい ・廃棄できたものもあった。継続して春休みに取り組む

【学校関係者評価】

- ・コドモンはすばらしいシステムで、保護者としても活用させてもらっている
- ・A評価が少ないので、もっと肯定的に自己評価してほしい
- ・9、11、12の目標については、職員の努力だけでは解決が難しいので、地域の資源を掘り起こし、ボランティアなど呼びかけてみては
- ・よい保育をしているので、もっと自信をもってやってほしい